

**令和7年度
介護テクノロジーメーカー連絡会議の開催について**

1. 開催の背景

生産年齢人口が減少していく一方、介護ニーズが増大していく中で、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の働く環境改善を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっております。

現在、介護分野における福祉用具・介護テクノロジー（以下、「介護機器」）は、様々な分野で様々な主体により利用されており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズを踏まえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・実証・普及それぞれの段階で必要な取組を実施する必要があります。

厚生労働省では、「介護現場の生産性向上に向けた介護テクノロジー開発等支援事業」において、介護現場のニーズをふまえた介護テクノロジーの開発・実証を加速化するために、開発実証のアドバイス等を行うリビングラボのネットワーク、実際の介護現場における実証フィールド等からなる、介護テクノロジーの開発・実証体制を整備することとされています。

また、「介護現場の生産性向上に向けた介護系ベンチャー等にかかる調査業務・総合支援業務一式」においては、介護系ベンチャー等からの介護テクノロジーの開発段階から上市に向けた出口戦略の検討まで一貫通貫して相談や要望を一括して受け付ける相談窓口の設置や、ベンチャー振興のための環境整備・支援ネットワークの拡充、大企業・投資家等とのマッチング機会を創出するためのネットワーキングイベントの開催等を実施することとされています。

普及の観点では、地域医療介護総合確保基金を活用した「介護生産性向上推進総合事業」において、介護現場革新会議の開催や、介護現場革新のためのワンストップ窓口（介護生産性向上総合相談センター）の設置や、「都道府県における生産性向上の取組に関する調査及び普及支援事業（中央管理事業）並びに 2025 年日本国際博覧会設営等事業」（以下、中央管理事業という）において設置する窓口により、地域の多様な関係者の参画の下、生産性の向上や働きやすい職場環境づくりなどを進められています。

こうした背景を踏まえ、当協会では、関係企業に対して行政の動向及び介護テクノロジーに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護テクノロジー開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護テクノロジーメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することにいたします。

※ 昨年度まで「介護ロボット」としていたものを「介護テクノロジー」に変更しています。

2. 事務局

本会議は、「福祉用具・介護テクノロジー実用化支援・調査・広報等一式」における介護機器の普及に係る取組の一環として位置付け、当協会が行います。

「	公益財団法人テクノエイド協会 担当：伊東、松本、堀江、五島（ごしま） 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階 電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885 E-mail robocare@techno-aids.or.jp	」
---	--	---

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護テクノロジー等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 「ロボット介護機器開発等推進事業」において採択され、既に商品化した介護テクノロジーのメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護テクノロジーメーカー
- 次世代の福祉用具・介護テクノロジーの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないことといたします。）

4. 参加申し込み

会場とWebでの開催とします。

ただし、インフルエンザ等感染症を予防する観点から、Web開催のみに変更する場合があります。

【参加方法】

テクノエイド協会のホームページの申込フォームからご登録下さい。

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyos.html#tab24_detail

※）会場での参加は、180名の先着順となります。

【参加費】

無料



5. 開催内容(予定)

- (1) 日時：令和7年6月18日（水）10時00分～15時00分
- (2) 場所：TOC有明（東京都江東区有明）
4階コンベンションホール EASTホール（E4～5）
Web参加ご希望の方には、後日会議への招待アドレスを送信いたします。
- (3) 内容：下記の通り

【第1部】

(行政報告)

10:10～10:50

①介護テクノロジーに係る施策の動向について＜各20分＞

厚生労働省 老健局高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室 介護テクノロジー政策調整官 佐藤 修一 氏

経済産業省 商務・サービスグループ

医療・福祉機器産業室 室長補佐 出戸 浩朗 氏

(情報提供)

10:50~12:00

②福祉用具・介護テクノロジー実用化支援事業の実施について<30分>

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 松本 美樹子

- ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取り組み
意見交換及びアドバイス支援、モニター調査事業の実施について
- ・都道府県等における介護テクノロジーの開発・導入に係る助成制度について
- ・福祉用具・介護テクノロジー試用貸出事業の実施等について
- ・介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信について
- ・その他、令和7年度の主な事業予定について

③介護現場の生産性向上に向けた介護テクノロジー開発等支援事業の取り組み<20分>

株式会社NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット 太刀川 遼 氏

④介護現場の生産性向上に向けた介護系ベンチャー等にかかる調査業務・総合支援業務の取り組み<20分>

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部 末松 佑磨 氏

～ 休憩 ～

【第2部】

(取組報告) <各20分>

13:00~13:40

⑤リビングラボの機能・活動について

東北大学青葉山リビングラボ 渡部 達也 氏

⑥介護生産性向上総合相談センターの設置・活動について

あおもり介護生産性向上相談センター 青田 俊枝 氏

(基調報告) <各20分>

⑦介護テクノロジーを活用した介護現場の生産性の向上について

- ・小規模施設におけるICT導入の取り組みとその効果(仮称)

～ 働きやすい職場環境の構築 ～

一般社団法人ケア・クリエイト グループホーム野の花 管理者 土肥 琴美 氏

- ・介護施設等のスタッフ間の連携力を向上、活気ある現場作り(仮称)

～ インカムを通じて取得したデータを活用する支援ツール ～

ボイット株式会社 代表取締役社長 CEO 永富 泰高 氏

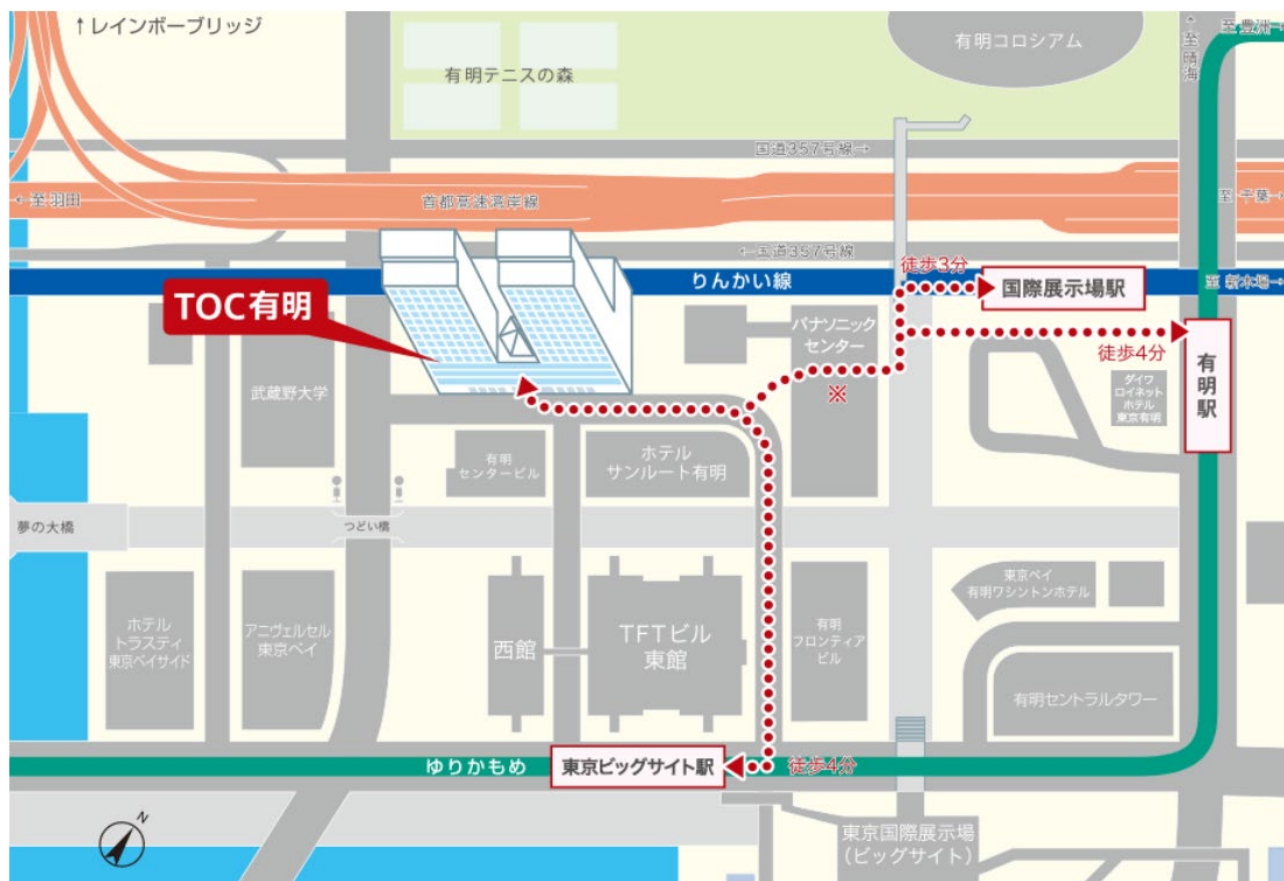
⑧質疑応答、名刺交換 <40分>

※会場参加の方におかれましては、会議終了後に名刺交換のお時間を設けます。

～ 閉会 ～

(会場地図)

会場：T O C有明 4階コンベンションホール E A S Tホール (E-4～5)



○会場の住所

東京都江東区有明3丁目5番7号 有明 4階コンベンションホール E A S Tホール
電話 03-5500-3535

○電車でのアクセス

りんかい線「国際展示場」駅より徒歩3分
ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅「有明」駅より徒歩4分

○車でのアクセス

首都高速湾岸線「有明」「臨海副都心」出口より約5分、同台場線「台場」出口より約5分